

第15回 エネルギー・原発問題委員会 開催

3月13日(金)第15回エネルギー・原発問題委員会を開催しました。

合計48名が参加し、活発な議論が展開されました。



▲村田座長(株式会社高島屋 代表取締役社長)



▲会場の様子

■議事

I. 2025年度下期活動報告(前回以降の取り組み)

- ①かべ新聞コンテスト(結果報告)
- ②関係者との意見交換
- ③政権与党への公開質問
- ④中長期的な活動方針の作成

II. 議論1:地層処分の解決に向けた提言内容について

III. 議論2:エネルギーミックス議論の全体像と前提条件について

IV. 議論3:2026年度活動方針(ロードマップ)について

■決定事項

- ・提言内容および資源エネルギー庁へ手交することが承認された。
- ・エネルギーミックス議論についていただいた意見を踏まえ、継続して検討する。
- ・26年度活動方針について承認を得た。

【出席者からのご意見】(一部抜粋)

- 勉強会や現地視察を通じ、原発・核に対する抵抗感や「難しく分かりにくい」という声の大きさを実感した。賛否以前に全国民が知ることが重要であり、対面による分かりやすい説明を通じて、国民的議論を広げていく必要がある。
- 高レベル放射性廃棄物の処理は厳重な安全対策のもとで進められていると認識している。その上で、文献調査を通じて、地元で反対意見が生じる背景や理由を丁寧に把握し、建設的な議論ができる環境づくりが重要だと感じた。
- 学習会や六ヶ所村視察を通じて地層処分への関心が高まり、周囲へ伝えていく重要性を実感した。今後は、より多くの人に届けられるよう発信に努めたい。
- エネルギーミックスの検討では、地域・所得・世代間で生じる不平等を避ける視点が重要である。
- エネルギーミックスでは原子力事故を再び起こさない安全性の徹底と、廃炉まで見据えた設計を明確にすることが、国民の理解を得る前提として不可欠だと考える。
- 六ヶ所村視察を通じて安全性への理解が深まった。最も避けるべき社会リスクは電力の安定供給の破綻であり、次世代技術を見据えた中長期的なエネルギー戦略が重要だと考える。



▲発言される委員の皆様(ほかにも多くの方からご意見をいただきました)

【事務局所感】

活発にご議論いただきありがとうございました。

会員の皆様におかれましては、是非次回の委員会へのご参画をお願いします。ともに国民的議論の喚起に努めて参りましょう。